



「戦争の悲惨さと平和への願いを語り継ぐ場」肝付町平和祈念公園で落成式と令和8年度肝付町戦没者追悼式を開催

4月19日、肝付町平和祈念公園の完成を祝う落成式が行われました。落成式では、これまでの工事経過報告をはじめ、来賓祝辞のあと、今回の公園完成に携わった工事関係者へ感謝状が贈呈されました。また、肝付遺族会からは高山護国神社の解体に支援いただいた関係者へ感謝状が贈られ、労をねぎらいました。

落成式の後には、令和8年度肝付町戦没者追悼式を開催しました。例年、町文化センターで行われていましたが、今回は落成したばかりの町平和祈念公園での開催となりました。

追悼式では、国歌斉唱に続いて黙とうがあり、式辞や追悼のことが述べられたあと、高山中学校3年生の福留 隼さんによって、平和へのメッセージが朗読されました。式の最後には、児童・生徒を代表して、高山小学校6年生のコレビー 希空アレクサンダーさん、中崎 紗良さん、高山中学校3年生の福留 隼さん、奥田 桜咲さんが、戦争の悲惨さと平和への尊さを風化させることなく未来へと語り継ぐため白菊を献花しました。

肝付遺族会の西 俊一会長は「家族を亡くした遺族の苦しさ、不戦への思いを次世代に継承していきたい」と語られました。参加した遺族の方々は、真新しい公園に設置された慰霊碑と記念碑を見て、「立派なものできた」「お父さん良かったねえ」と各々の方がご祖先様に語りかけていました。



**平和祈念公園が
完成しました！**

**四十九所神社
のすぐ近く**

▲完成した肝付町平和祈念公園（場所：高山護国神社跡地）



▲解体前の高山護国神社（写真：2012年 Google マップより）

やぶさめ通りに面した新たな憩いの場である「肝付町平和祈念公園」が今年3月に完成しました。この場所にはかつて高山護国神社がありました。

同神社は戊辰戦争から太平洋戦争までの戦没者913柱が祀られていましたが、社殿の老朽化で2021年に解体されました。

その後、2024年に着工し、境内にあった戦没者の慰霊碑と記念碑は公園内に移設されました。入り口に設置された公園の銘板は、町在住の書道家・橋口七絵さんに書をしたためていただいたことで、格式のある雰囲気を訪れた人を出迎えます。

目の前にあるやぶさめ通りでは、毎年高山流鏑馬が行われ、射手が馬に乗って疾走する姿を間近で見ることができる絶景スポットです。今後、この場所で様々な催しが開かれ、人々の思い出の場になるとともに、平和への願いを語り継ぐ場として永く愛されることが期待されます。

広々とした敷地内に駐車場完備！

駐車場

広い敷地内にはトイレや駐車場を併設しています。遠方に住むご遺族の方もぜひ参拝にお越しください。（駐車台数：14台）

休憩所

芝生の広場には、東屋（休憩施設）があります。日々のお散歩コースとしてもご利用できます。